



## 「出会い」と「ふれあい」で子どもたちの世界を広げる

園長 佐野 実

11月は新宿御苑の遠足から始まり、六瑞小でのモルモットとのふれあい、親子体操、人形劇と、体験活動が充実しました。活動を通して、様々な「出会い」や「ふれあい」を経験することができました。

遠足では秋の自然に出会い、落ち葉や木の実に目を輝かせました。親子体操ではあらためて親子のふれあいがありました。人形劇では、いつものホールが劇場に変わり、お話の世界に浸ってドキドキしました。また、六瑞小の小学生からの誘いで、学校で飼っているモルモットとふれあうことができました。ふれあいの後は、お世話になった小学生にお礼のお手紙も書きました。子どもたちはこれらの「出会い」や「ふれあい」を通して、様々な人や自然と関わり、自分の世界を広げたことと思います。

また、起震車体験や大通りを横断して公園まで出かけた安全指導では、「危険なこと」にも出会いました。地震の揺れを感じたり、細い道でも車や自転車が出てくることを実感したりして、こちらもまた自分の世界を広げるきっかけになることでしょう。

幼稚園教育において育みたい「10の姿」の中の一つに、「社会生活との関わり」があります。少し硬い表現になりますが「幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになる」とともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。」というものです。「10の姿」は相互に関連し合っており、幼稚園での遊びや生活の中で育まれていくものですが、ご紹介した一連の活動を通して、「社会生活との関わり」の姿が確かに育まれたことでしょう。

12月になります。冬、そして年末・年始ならではの「出会い」や「ふれあい」で、楽しい発見や家族の関わりがたくさん生まれ、子どもたちの世界がさらに広がり、社会とのつながりの意識が、また一段高まることを願っています。



### 12月の保育のねらい

- <年少> ・自分なりのイメージをもってなりきって動いたり、教師や友達とやりとりしたりしながら遊ぶことを楽しむ。
  - ・友達や教師と一緒に、季節の行事や遊びを楽しむ。
- <年中> ・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、友達の思いや考えを受け止めたりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
  - ・季節の変化や年末年始の行事に関心をもつ。
- <年長> ・友達と考えを出し合って工夫することで、遊びが面白くなることを十分に味わう。
  - ・目標に向かって繰り返し取り組む楽しさや、できた満足感を味わう。
  - ・年末年始の行事や日本の伝統文化に関心をもつ。